

経営比較分析表

千葉県 八街市

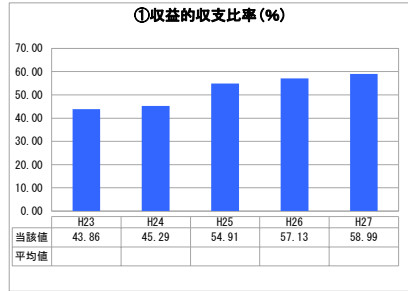
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	28.07	79.55	2,700

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
72,713	74.94	970.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
20,325	4.38	4,640.41

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



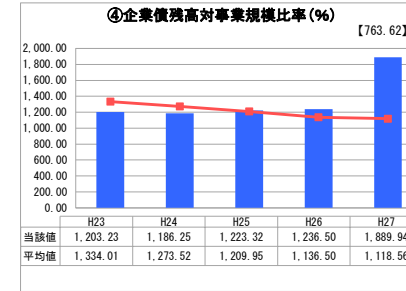
「単年度の収支」



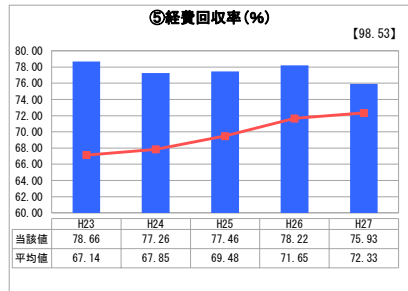
「累積欠損」



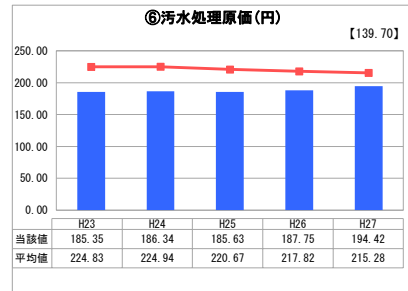
「支払能力」



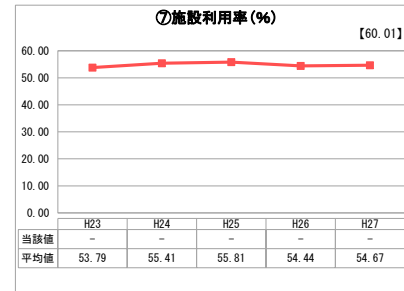
「債務残高」



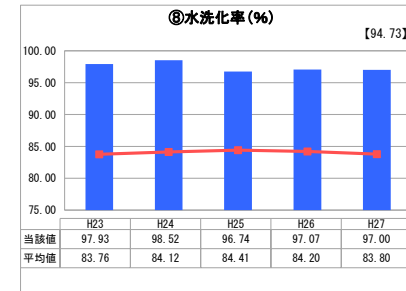
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

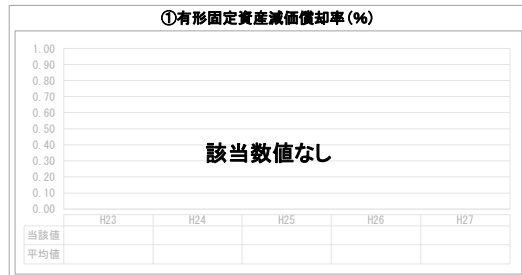


「施設の効率性」

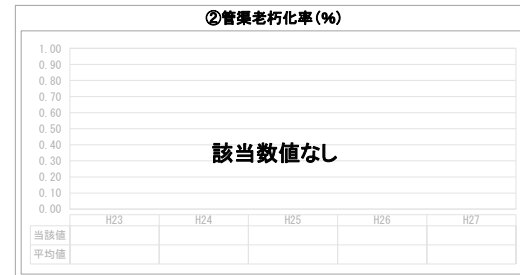


「使用料対象の捕捉」

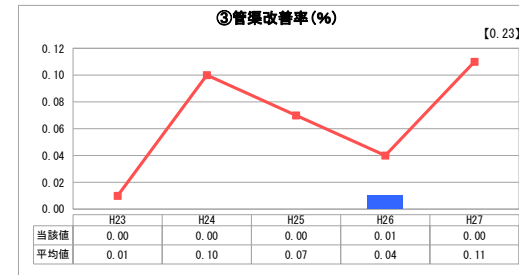
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が100%を下回っており、基準内繰入金を含めても赤字となっており、経営規模に比べて企業債の規模が大きいことが単年度収支圧迫の要因となっている。
平成元年3月の供用開始以来、黒字に到達できていないことから、八街市汚水適正処理構想の見直しにおいて、事業規模の適正化を図るため、全体計画を縮小しているところである。

2. 老朽化の状況について

都市計画決定区域内の整備と併せて、収益に配慮した管渠の改築更新を進めている。管渠の状態などを把握し、計画的、効率的に長寿命化等に取り組んでいく。マンホール蓋については、摩耗によるスリップ・転倒等の被害を未然に防ぐため、計画的に実施しているところである。

全体総括

起債償還については、減価償却年数との乖離を解消するため資本費平準化債により繰り延べを行っていき、整備中の八街バイパス沿線の接続率向上に努めていく。管渠の更新についても経営の健全化に配慮しつつ実施していく必要がある。今後、地方公営企業法の適用を進めるとともに経営戦略を策定し、経営基盤強化に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。